

第3学年

教科	・児童の課題○重点目標	具体的な授業改善策
国語	・物語を楽しみながら読める児童が多い。感想は書けるが、文を創作することは苦手とする児童が多く、時間がかかる。 ・「～でしょうか」「このように」という言葉に注目して説明文を読むことが上手になった。 ・台本を作り、発表することはできるが、友達の発表を最後まで聞き、質疑応答することには個人差がある。 ○大切なことをもらさずに読んだり聞いたりして自分の考えをもち、文章に表す。	・大切な部分に線を引きながら読んだり聞いたりし、線を引いた部分について考えをまとめていくようにする。パソコンを活用して下書きをすることで、編集や順序の入れ替えを容易に行いながら、文章を作っていく指導を行う。 ・メモをとりながら話の中心に気を付けて聴く練習を行う。
算数	・時間の計算が得意でない児童が多い。 ・基礎的、基本的な計算技能が身に付いていない児童がいる。 ・文章問題の要点の読み取りを苦手とする児童が多い。 ○既習事項の振り返りを毎時間行い、基礎的・基本的な技能の定着を図る。また、文章題からの立式ができるようになる。	・普段の生活の中で、時計を意識するような問いかけを継続して行い、身近な事項として時間や時刻の数感覚を養っていく。 ・文章問題では、要点に下線を入れたり、印を付けたりする作業を繰り返し行うことで、文章からの要点の読み取りの仕方を定着させていく。
理科	・生き物の観察や実験を楽しんでいる児童が多い。生き物の育ち方のように、経験を通して理解していく内容は知識として残りやすい。 ○観察や実験といった体験を通した学習内容の定着を図る。	・今後も体験を通した内容理解を重視し、観察、実験を十分に取り入れる。またこの経過や結果をパソコンで撮影、記録が蓄積できるようにする。
社会	・学校の周りにあるものを地図で探したり、生活体験の中から思い出して発表したりする学習を楽しんでいた。4方位、8方位、地図記号の定着がまだ不完全である。 ○施設見学等の体験的な学習を通して理解を深めながら、方位、地図記号の指導については年間を通して理解する。	・学習問題を設定し、予想を立て 資料を見る視点を提示してから、資料活用の時間を取る。 ・八丈町の地理的環境や安全を守るための諸活動、消費活動の様子や地域の様子の移り変わりについて、社会科見学、ICT を用いた映像資料を用いるなどして理解させる。
音楽	・粘り強くリコーダーの奏法を習得しようと努力する姿が見られる。しかし、正しい奏法が定着しない児童が多い。 ○リコーダーの正しい奏法を習得し、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付けるようにする。	・リコーダーの正しい持ち方やトーンホールの閉じ方を繰り返し確認し、癖がつく前の導入時に必ず直す。 ・範唱の音を目指して、友達同士で音を聴き合い、タンギングを意識して演奏したり息の入れる量に注意したりすることに自分たちで気付けるようにする。
図工	・友人の発想やアイデアに関心をもったり、表したことを紹介し合ったりしながら、楽しく活動しようとする姿が見られる。しかし、自分の作品だけに興味関心をもつ児童もあり、表現方法に偏りがある児童もいる。 ○造形活動に取り組むときの感覚や行為を通して、自分のイメージをもちながら表現を楽しむ力を育てる。	・導入で映像資料を見せながら様々な作品に触れる機会を設定し、豊かな発想につなげていく。 ・ICT を効果的に活用し、技法や材料の生かし方などをいつでも調べたり、友達の活動の様子を見たりする時間を十分に確保する。

体育	• 体を動かすことが好きで、積極的に学習に取り組む児童が多いが、多様な動きの感覚習得が十分ではない。領域によって技能面の習得に差がある。 ○関わり合いを通して技能を高め合い、ルールを理解し、工夫しながらゲームを楽しむ力を育む。	• 一人一人がめあてをもって活動に取り組めるように、学習過程を充実していくとともに、自身の進歩や達成感を実感できるように学習カードを工夫して自己評価や相互評価をより効果的に行っていく。 • 年間を通して、補助運動に多様な動きを作る運動を意図的に取り入れる。 • 体づくり運動の単元で、コーディネーショントレーニングを取り入れる。
-----------	--	--

※ なお、各教科において、端末は対話的な学びや記録の蓄積等に常時生かすようにする。